

# 故奥村恒哉教授著作目録

著書

	〔発行所〕	〔発行年〕	〔発行所又は発表機関〕
「古今集・後撰集の諸問題」	風間書房	昭和四六年二月	
「歌枕」	平凡社	昭和五二年四月	
「古今和歌集」	新潮社	昭和五三年七月	
「古今集の研究」	臨川書店	昭和五五年一月	
「八代集」一～IV	平凡社	昭和六一年一月～八月	

## 論文

〔研究題目〕	〔書名〕	〔発行年〕	〔発行所又は発表機関〕
古今集勅撰宣下並に両序欄筆等の時期についての考察	国語国文	昭和二六年 八月	京都大学文学部国語学国文学研究室
古今集卷七右大将藤原朝臣の四十賀の屏風歌の作者について	国語文学	昭和二七年一二月	〃
新撰和歌集の原型	芸林	昭和二八年 六月	京都八坂神社内芸林会
後撰集の成立年代についての考察	日本文学史研究	昭和二八年 五月	日本文学史研究会
三代集の重出歌とその問題	国語文学	昭和二八年 九月	京都大学文学部国語学国文学研究室
古点の成立と後撰集の万葉歌	万葉	昭和二九年 四月	万葉学会
古今集の成立―宇多天皇と醍醐天皇―	国語国文	昭和二九年 五月	京都大学文学部国語学国文学研究室
代名詞彼・彼女・彼等の考察	国語国文	昭和二九年一月	〃
拾遺集の万葉歌	万葉	昭和三〇年 一月	万葉学会
古今集仮名序諸本と訓点語	訓点語と訓点資料	昭和三〇年 五月	訓点語学会

## 文学史と言語史

雲のいづくに

源氏物語に引かれた古今集―平安時代における流布古今集について―  
古今集の詞書の考察―書式及び「侍り」の使用に関する諸問題

古今集仮名序の本文について

代名詞「彼、彼女、彼等」の研究―歴史的文体論的考察

古今集諸本の異同と国語史的考察―原本推定と諸本の性格

源氏物語地理考證―京都から宇治まで―  
古今集序における「かみよ」と「ひとのよ」

宇治の文学地理

源氏物語における小野の位置―恵信僧都と関係して

宇治十帖の風土

古今六帖と古今集

新古今集の古今集

平安朝の後撰集

後撰集成立年代考

「すみのえ」と「すみよし」

後撰集と古今六帖

古今集注釈のある場合―吉野の滝―

「おく山にもみぢふみわけ」―古今集のもみぢ―

古今集

## 文学史研究

解釈

国語国文

国語国文

和歌文学研究

文学史研究

高野山大学論叢

国語国文

神道史研究

国語研究

密教文化

国文学

国語国文

皇学館大学紀要

和歌文学研究

国語国文

国語国文

国語国文

平安文学研究

皇学館大学紀要

解釈と鑑賞

昭和三〇年 六月

昭和三〇年 一二月

昭和三一年 一月

昭和三二年 四月

昭和三二年 四月

昭和三二年 一二月

昭和三三年 四月

昭和三三年 一月

昭和三四年 七月

昭和三四年 七月

昭和三五年 一月

昭和三七年 七月

昭和三九年 四月

昭和三九年 三月

昭和三九年 九月

昭和四〇年 一月

昭和四一年 五月

昭和四一年 一〇月

昭和四二年 一二月

昭和四三年 二月

昭和四三年 三月

文学史研究会

解釈学会

京都大学文学部国語学国文学研究室

〃

和歌文学会

文学史研究会

高野山大学

京都大学文学部国語学国文学研究室

八坂神社内 神道史研究会

白楊社

高野山大学内密教文化研究会

学燈社

京都大学文学部国語学国文学研究室

神宮皇学館大学

和歌文学会

京都大学文学部国語学国文学研究室

〃

〃

平安文学研究会

神宮皇学館大学

至文堂

河海抄の位置	国文学	昭和四三年一月	学燈社
源氏物語の三代集からの撰取	解釈と鑑賞	昭和四三年五月	至文堂
河海抄の研究	皇学館論叢	昭和四三年六月	神宮皇学館大学
「古今六帖拾遺」補正	平安文学研究	昭和四三年二月	平安文学研究会
金槐集と後撰集	皇学館論叢	昭和四四年二月	神宮皇学館大学
金槐集と古今集	国語国文	昭和四四年三月	京都大学文学部国語学国文学研究室
「金風山吹瀬」考	国語国文	昭和四四年一月	〃
河海抄所引の古今六帖	平安文学研究	昭和四四年一月	平安文学研究会
和歌童蒙抄所引の古今六帖	和歌文学研究	昭和四四年一月	和歌文学会
夫木抄所収の古今六帖―古今六帖拾遺補正	皇学館大学紀要	昭和四六年一月	神宮皇学館大学
異本紫明抄所引の古今六帖	皇学館論叢	昭和四六年八月	〃
土佐日記地理考證―山崎付近―	国語国文	昭和四七年一月	京都大学文学部国語学国文学研究室
古今集本文批判例	皇学館大学紀要	昭和四七年一月	神宮皇学館大学
「贅野の池」考―附、水なしの池	国語国文	昭和四八年九月	京都大学文学部国語学国文学研究室
源氏物語における歌枕の種々相	古代文学論叢第四輯	昭和四九年四月	武蔵野書院
「いしはしる」「いははしる」	皇学館論叢	昭和四九年六月	神宮皇学館大学
古今集の注釈と本文批判	皇学館論叢	昭和四九年一月	〃
「うるふ月」による作歌年代判定	国語国文	昭和四九年一月	京都大学文学部国語学国文学研究室
「鳳凰堂の壁画」と和歌	白田甚五郎博士還暦記念編集	昭和五〇年一月	桜楓社
古今集の精神	文学	昭和五〇年八月	岩波書店
源氏物語「古注」所収の古今六帖及び古今六帖拾遺歌	皇学館論叢	昭和五〇年二月	神宮皇学館大学

- ゆたのたゆたに  
平安文学研究  
昭和五〇年一二月  
平安文学研究会
- 梅の島考―増鏡地理考證  
皇学館大学紀要  
昭和五一年一月  
神宮皇学館大学
- かげろふの石  
万葉  
昭和五一年三月  
万葉学会
- 二条のきさきと菅原朝臣  
文学  
昭和五一年五月  
岩波書店
- 「たにかぜ」「やまかぜ」に関する諸問題―古今集と資料  
大坪併治教授退官記念 国語史論集  
昭和五一年五月  
表現社
- 古今集の贈答的配列と註釈  
国語国文  
昭和五二年一月  
京都大学文学部国語学国文学研究室
- 万葉集と古今集は連続しているか  
国文学  
昭和五二年九月  
学燈社
- 乞食之客―古今集序の理解―  
国語と国文学  
昭和五二年一月  
東京大学国語国文学会
- 「いく」と「ゆく」―古今集の詞書と伊勢物語の文章―  
論集・日本文学・日本語2・中古(阪倉篤義博士還暦記念論集)  
昭和五二年一月  
角川書店
- 万葉「綴喜の原」考  
人文  
昭和五二年二月  
鹿児島県立短期大学人文学会
- 桐壺の巻「高麗人」の解釈付、準抛の問題  
文学  
昭和五三年四月  
岩波書店
- 「かくれぬ」と「こもりぬ」  
人文  
昭和五三年六月  
鹿児島県立短期大学人文学会
- 古今集「岡のやかた」考  
国語国文  
昭和五四年五月  
京都大学国語学国文学研究室
- こぶしかも伊豫の高嶺  
〃  
昭和五五年二月  
〃
- 歌 枕  
短歌研究  
昭和五五年四月  
短歌研究社
- 「あたぬし」考 梁塵秘抄注釈―林屋辰三郎氏の見解について―  
人文  
昭和五五年六月  
鹿児島県立短期大学人文学会
- 歌枕音羽山について  
鹿児島県立短期大学紀要  
昭和五六年一月  
鹿児島県立短期大学
- 後撰集「縣井戸」考  
三代集の研究(小沢正夫博士古稀記念論集)  
明治書院  
昭和五六年五月  
明治書院
- 豊明節念  
年中行事の文芸学  
弘文堂  
昭和五六年七月  
弘文堂
- 源氏物語の「大島」と万葉集の「可太の大島」  
文学  
昭和五六年八月  
岩波書店
- 香川景樹「古今集正義」  
国文学  
昭和五六年八月  
学燈社

古今集春下の配列と作者	国語国文	昭和五七年	一月	京都大学国語学国文学研究室
度会の大川	〃	昭和五七年	六月	〃
あとらへつくるものならばー古今集と万葉集ー	平安文学研究	昭和五七年	六月	平安文学研究会
幸の橋ー付櫛田川その他ー	人文	昭和五七年	七月	鹿児島県立短期大学文学会
歌枕「浦の初島」	古代文化	昭和五七年	一〇月	古代学協会
海人は告ぐとも長居すな	鹿児島県立短期大学紀要	昭和五七年	二月	鹿児島県立短期大学
名所三題ー「みなせのみや」 「となせのたき」 「ひとつばし」	国語国文	昭和五七年	二月	京都大学国語学国文学研究室
国民大学ということ	国語通信	昭和五八年	四月	筑摩書房
春雨の降る日となれば	中古文学	昭和五八年	五月	中古文学会
万葉集名所考	鹿児島県立短期大学紀要	昭和五八年	二月	鹿児島県立短期大学
松尾大社の歌枕	洛西	昭和五九年	一月	松尾大社
古歌を読む	国文学	昭和五九年	二月	学燈社
山家集 注釈及び錯簡考	国語国文	昭和五九年	二月	京都大学国語学国文学研究室
古今集と花鳥風月	解釈と鑑賞	昭和六〇年	一月	至文堂
奈良の石上	文学	昭和六〇年	二月	岩波書店
古今集「かさとり山」	国語国文	昭和六〇年	三月	京都大学国語学国文学研究室
古今集への道の種々相	文学	昭和六一年	二月	岩波書店
歌枕「野鳥が崎」	人文	昭和六一年	六月	鹿児島県立短期大学人文学会
和歌の文法	日本詩学	昭和六二年	一月	明治書院
再び古今集巻七右大将藤原朝臣の四十賀の屏風歌の作者について	国語国文	昭和六二年	八月	京都大学国語学国文学研究室
歌枕と注釈ーふけひの浦の場合ー	鹿児島県立短期大学紀要	昭和六二年	二月	鹿児島県立短期大学

「大島」「大島鳴戸」考

文学

昭和六三年 六月

岩波書店

「いろいろことに」「か」「いろいろことに」「か

人文

昭和六三年 六月

鹿児島県立短期大学人文学会

歌枕書問

ちくま

平成元年 五月

筑摩書房

三輪の神杉・箱崎の松

国語国文

平成元年 七月

京都大学短期国語学国文学研究室

歌枕序説―起源と前史

鹿児島県立短期大学紀要

平成元年一二月

鹿児島県立短期大学

ほととぎすの名所と歌枕

ちくま

平成二年 二月

筑摩書房

(講座)

古今和歌集、古今集仮名序

研究と鑑賞 日本文学講座

昭和三二年 六月

大阪 創元社

平安の旅

日本古典鑑賞講座(五卷)

昭和三二年一〇年

角川書店

在原業平・小野小町

和歌文学講座(十卷)

昭和四四年 八月

桜楓社

源氏物語の歌枕

源氏物語講座(五卷)

昭和四六年 九月

有精堂

古典における万葉集の影響と享受

万葉集講座(一卷)

昭和四八年一月

〃

日本の古典文学、古今和歌集定家校訂本、古今和歌集の左注、古今和歌集研究文献解題

一冊の講座 古今和歌集

昭和六二年 三月

〃

(翻刻・解題)

友則集、是則集、貫之集

私家集大成(第一卷)

昭和四八年一一年

明治書院

(辞書)

源氏物語事典(上)

(約二〇〇項目)

源氏物語事典(上)

昭和三五年 三月

東京堂

〃 〃 (下)

(地図一六葉)

源氏物語事典(下)

昭和三五年 六月

〃

和歌文学大事典 (約二〇項目)

和歌文学大事典

昭和三七年一年

明治書院

(対談)

古今集の歴史的新しさ(寺田透、大岡信氏と)

文学

昭和五〇年 八月

岩波書店

〔再録『海とせせらぎ』(大岡信対談集)

昭和六〇年 八月〕

歌枕地名考 (谷川健一氏と)

月刊百科

昭和五一年 一月

平凡社